

# 宮崎県在京経営者会議だより

## 第13号

宮崎県在京経営者会議  
発行責任者/高山弘憲  
〒104-0084  
東京都千代田区二番町5-7  
JP本社ビル内  
TEL.03-3265-2911  
FAX.03-3265-1109

### 会長挨拶

宮崎県在京経営者会議  
会長 高山弘憲



会員の皆様におかれてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

今年度も会員相互間や郷土経営者との親睦交流のほか、宮崎県の観光物産等産業振興支援など恒例の年中行事に多大のご協力を賜り、深く感謝しております。

さて、昨年末の衆院選で現状追認を受けた第3次安倍内閣が、経済最優先でデフレに終止符を打ち、財政再建と経済成長を両立させ、中・長期的な日本経済の成長力の見通しを高め、今後10年で年2%の実質経済成長率を達成することが出来るか、正念場を迎えておりますが、私どもを取り巻く経営環境は着実に向上して行くこと期待されております。

また、政治情勢につきましても、一強他弱で依然として不安定であります。日本丸が中長期的に着実に前進するように各党が万難を克服して、一致協力して事に当たることが願うばかりであります。

### 知事挨拶

宮崎県知事 河野俊嗣



「宮崎県在京経営者会議だより」の発行にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

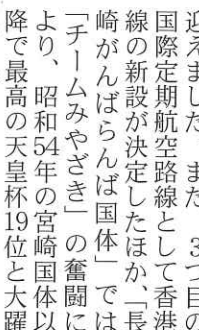
宮崎県在京経営者会議の皆様におかれましては、設立以来、首都圏における本県出身者への就職支援や観光・物産のPRに取り組んでいただき、ともに、昨年は新たに産学官で宮崎の未来を考える場となる「宮崎の未来創生コンソーシアム」を設立いただき、たく温かい御支援、御協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、我が国は人口減少、超高齢化という大きな課題に直面しています。本県は、真の地方創生を実現する「みやざきモデル」をとりますと創生本部」に提言しました。恵まれた環境や全国トップクラスの合計特殊出生率を踏まえ、人口減少の克服や景気回復等に向けて全力で取り組んでまいります。

一方、本県では、これまでの先人の努力の上に、着実に飛躍の芽がはじめています。昨年3月、県民の長年の悲

### 活性化協会会長挨拶

宮崎産業活性化協会  
会長 米良 充典



願であった宮崎から延岡までがついに一本の高速道路で結ばれ、「東九州の新時代」を迎えました。また、3つ目の国際定期航空路線として香港線の新設が決定したほか、「長崎がんばらんば国体」では「チームみやざき」の奮闘により、昭和54年の宮崎国体以降で最高の天皇杯19位と大躍進を果たしました。

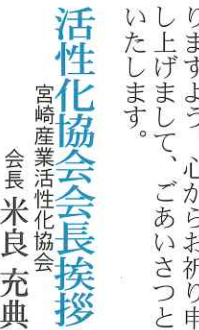
本年は、こうした成果を礎に、直面する課題へも果敢に挑戦しながら、県民の皆様とともに、誰もが安心して暮らすことができ、将来に夢や希望を持てる地域づくりを進めてまいります。

このため、県では、平成27年度の施策の展開に当たり、4つの視点で取り組むこととしました。一つ目が、若年層を中心に県内で働き住み続けられる社会の実現等を通じた「人口減少問題の克服」。二つ目が、本県の未来を築く原動力となる子どもたちの育成等にに取り組む「将来の発展と地域を支える人財づくり」。三つ目が、オリンピック・パラリンピック東京大会の開催等に向けた「宮崎のおもてなし」の磨き上げと魅力の発信。そして、四つ目が、地域に根ざし成長する産業づくりや安全・安心で魅力ある地域づくりを進める「本県の更なる発展に向けた長期的・継続的取組」。

今、本県は大きく羽ばたこうとしていきます。活力にあふ

### 活性化協会会長挨拶

宮崎産業活性化協会  
会長 米良 充典



宮崎県在京経営者会議の皆様におかれましては、輝かしい新年度をお迎えのことと存じます。

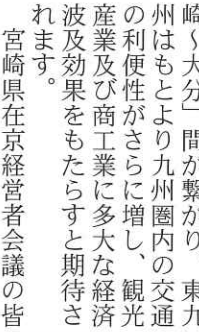
今般、昨年11月に行われた宮崎産業活性化協会臨時総会において、会長職に選任されました。身に余る重責ではありますが、一意専心、当会の益々の発展に全力を尽くし、皆様のご期待に添うよう努力致す所存でございます。

さて、昨年の我が国経済は、アベノミクス効果による円安・株高が進み、長期にわたるデフレから物価上昇に転じ、輸出関連の大企業を中心に企業業績が大幅に改善した一方、4月の消費税増税や行き過ぎた円安により原材料や商品仕入価格が高騰し、中小企業にとっては厳しい経営環境となりました。

一方、本県におきましては、2月からプロ野球オリックスバフアローズが春季キャンプに加わり、温暖な気候を利用した「スポーツランドみやざき」が着実に推進されるなど、明るい話題が多くあります。また、3月には、東九州自動車道「蒲江」佐伯間が開通することで、念願の「宮崎大分」間が繋がり、東九州はもとより九州圏内の交通の利便性がさらに増し、観光産業及び商工業に多大な経済波及効果をもたらすと期待されます。

### 活性化協会会長挨拶

宮崎産業活性化協会  
会長 米良 充典



宮崎県在京経営者会議の皆様とは10年以上の長きにわたる交流致しておりますが、これまで「宮崎の郷土料理と本格焼酎を楽しむ会」を東京において開催していたとき、本県物産品の販路を拡大するビジネスチャンスの場を提供いただくと、本県経済の発展のために大きなお力添えをいただいております。

また、本県出身の高等学校や専門学校、大学等の学生の就職につきましても、多大なご支援をいただき、心より感謝を申し上げます。

今後につきましても、私も宮崎産業活性化協会は、宮崎県在京経営者会議の皆様と一致団結し、積極的な事業展開を図ることにより、宮崎の更なる活性化の一助となるよう鋭意努力して参りたいと考えております。

最後になりましたが、宮崎県在京経営者会議の益々のご発展と高山会長をはじめ会員の皆様のご活躍、ご健勝を祈念致しまして挨拶とさせていただきます。本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。



定期総会報告  
第16回  
定期総会報告

平成26年6月27日（金）、グラウンドアーク半蔵門で、第16回定期総会が開催されました。

高山会長の挨拶の後、総会の議事に入り、議事次第に従い、平成25年度事業報告並びに収支決算承認、平成26年度事業計画並びに収支予算案の各議案とも、いずれも原案通り承認可決されました。

引き続き、懇親会となり、来賓の河野俊嗣宮崎県知事、戸敷正宮崎市長の挨拶があり、宮崎の経済状況等の報告がありました。  
乾杯後は、参加会員相互の交流・情報交換等で、更なる親睦を深め、盛会のうちに閉会となりました。



新会員紹介

（株）スカイコム  
代表取締役社長

● 出身地 日南市

● 趣 味 ゴルフ、旅行

● 事業内容 ペーパーレスに関するソフトウェア製品開発

（株）アイディール  
代表取締役

● 出身地 宮崎市

● 趣 味 ゴルフ

● 事業内容 人材派遣業、人材紹介業、外車レンタカー

旭建設（株）  
代表取締役社長

● 出身地 日向市

● 趣 味 ゴルフ、サーフィン、落語

● 事業内容 建設業（土木業）、焼酎業（日向あくがれ）

（株）Genesis-net  
取締役

● 出身地 串間市

● 趣 味 空手道八段、柔道二段、剣道二段、シーカヤック、ダイビング、杵嶋流甲胃術

● 事業内容 医療業務全般

公益財団法人 東京都保健医療公社  
豊島病院  
看護部長

● 出身地 延岡市

● 趣 味 ゴルフ

● 事業内容 病院の看護部の責任者、看護管理者、47床を有する急性期の総合病院

（株）イーエス・ウォーターネット  
代表取締役社長

● 出身地 日之影町

● 趣 味 ゴルフ

● 事業内容 散水システムの輸出入及び製造販売・農業用、工業用機械の輸出及び製造販売

（株）シーワン  
営業部長

● 出身地 宮崎市

● 趣 味 ゴルフ

● 事業内容 ペットと暮らす家の設計施工・ペットと暮らせるシェアハウスの企画、運営、管理・賃貸アパート設計施工

（有）シャインブロッサム  
役員

● 出身地 延岡市

● 趣 味 波乗り

● 事業内容 整体院の経営・建築業

新入会員と役員との懇親会

宮崎県在京経営者会議では、平成26年5月23日、平成24年、25年、26年に新たに入会された会員有志9人と、役員10人による懇親会を千代田区平河町で開きました。

出席された皆さんとの交歓、それぞれの出身地の話等で盛会に終わりました。





物産振興部会

「第十三回 宮崎の本格焼酎と郷土料理を楽しむ会」

宮崎県在京経営者会議主催の「第13回 宮崎の本格焼酎と郷土料理を楽しむ会」は、9月5日、東京千代田区九段のホテルグランドパレスで開催されました。

当日は、460人以上が参加、同会の高山会長のあいさつのおと、宮崎産業活性化協会の羽田正治会長、宮崎県の河野俊嗣知事がそれぞれあいさつ。乾杯のあいさつのおと、懇談、会食となりました。

会場には、宮崎県産業活性化協会から協賛・出品頂いた、宮崎牛はじめ、みや



ざき地頭鶏（じどっこ）のほか、ピーマン、かんしょ、さといも、梨、へべス、ゴーヤなどの宮崎県産の野菜を使った料理が並び、宮崎県酒造組合各社からの本格焼酎とともに参加者は舌鼓を打っていました。

また、会場横に物販ブース、観光ブースも設置し、宮崎のお土産やおび天の販売、観光パンフレットの配布等も行いました。

会は盛会に終了、参加者は焼酎などのお土産を手にして帰路につきました。





第14回 求人求職説明会

26年度「求人求職説明会」は、7月18日（金）にハリウッドビューティ専門学校5階ハリウッドホールにて開催をいたしました。今回は会員企業13社の採用担当の皆様に参加いただき、高校14校・大学3校の就職指導の教職員の方々と個別に面談が行われました。宮崎県からは飛田教育長、長友学校政策課主幹、杉田宮崎県商工会議所連合会事務局長、宮崎県東京事務所長及び、宮崎市東京事務所長にもご参加をいただきました。県側の皆様からは「就職状況の良い時も悪い時も変わらず続けていた、良かったことに心から感謝を捧げたい」とのご挨拶のほか、会員企業の担当者との面談することで個別の企業採用情報をはじめ、首都圏での種々の状況の把握に意義があることについて教職員を含め学ぶべきところが多いとの意見が述べられました。当部会としては、猛暑の時期に、業務ご多忙のなかご参加を賜りました企業の皆様への感謝と共に、ありかたく拝聴した次第です。

また、説明会終了後には同校の最上階の応接会議室にて懇親会を開き、宮崎の焼酎を片手に打ち解けた雰囲気豊かな情報交換の時間を持つことができました。眼下の六本木ヒルズでは開催日前後はちょうど「テレビ朝日・六本木ヒルズ夏祭り」が開催されており、華やかなステージの様子や川床を模したビアガーデンの俯瞰を知らずも楽しんでいただけました。多岐にわたる業種の現役のビジネスマンと、寛いだ時間の申で交わされた様々な会話が宮崎各地の学生たちに届けられ、夢や希望の小さな芽となってくればと思いました。

最近の学生の地元志向と、地元企業の強い採用状況から、求人求職説明会としての採用実績に繋がりにくい現状がつづいております。しかしながら、この会を通じて、地元宮崎の教育関係者と在京の企業関係者との情報交換が行われることにより、宮崎の若い世代と東京との交流が図られ、故郷の若者たちに先輩との絆を提供するというかたちで貢献させていただければと考えおります。さらに、一層の成果を生み出す会とするために引き続き、皆様ご教示を賜ることができれば幸甚です。

最後になりましたが、今回ご参加・ご協力くださった会員企業並びに、関係企業の皆様方にあらためて深く御礼を申し上げますとともに、今後とも、ご指導ご協力を仰ぎたくお願い申し上げます。





# 宮崎の未来創生コンソーシアム設立総会

人口減少社会の新しい宮崎づくり



宮崎県在京経営者会議と宮崎大学、宮崎県の「産学官」連携で新しい宮崎をつくらうという「宮崎の未来創生コンソーシアム」(代表 高山弘憲・在京経営者会議会長)の設立総会・記念フォーラムが平成26年8月26日、宮崎市のシーガイア・コンベンションセンターで、約500人が参加して聞かれました。

コンソーシアムは「産学官」の協働を通じて「宮崎ブランド」を確立し、宮崎を活性化しようという目的で、平成25年

4月に発足しました。それから1年以上にわたる話し合いを通じて、中核の3組織だけでなく、広く宮崎の産業界、教育機関、市町村にも呼びかけ、「新しい宮崎づくり」を話し合い、実現していく場を提供しようということになりました。

具体的な活動の第一歩となる設立総会では、在京経営者会議の会長代理として熊村剛幸・副会長、宮崎大学の産学・地域連携センター長の堀井洋一郎・副学長、宮崎県の河野俊嗣・知事があいさつし、コンソーシアムの目的と意義を訴えました。「地方創生」を打ち出そうとしていた安倍晋三首相からも、コンソーシアムの発展を期待するタイムリーなビデオメッセージが届けられ、会場を沸かせました。

コンソーシアムの運営委員長でもある桑畑英紀・在京経営者会議幹事が事業概要などを説明したあと、「新しい宮崎づくりに向けた人財づくり宣言」を採択。「産学官」の代表が人財づくりを誓って、固い握手を交わしました。宣言は意欲ある学生、社会人、経営者を対象とした人材育成の場「みやざき未来創生塾」をつくらうというもので、在京経営者会議と



しては「これまでの経済活動の中で培ってきた経験や人的ネットワークを活かし、東京の視点からノウハウや講師を提供する」ことになりました。

設立総会のあと、記念フォーラムを開き、元総務相の増田寛也・元岩手県知事が「人口減少社会を見据えた新しい地域づくり」と題して記念講演をしました。増田氏は2040年には全国自治体の約半分に当たる896市区町村が若年女性人口(20〜39歳)5割以下となる「消滅可能性都市」



になると予測していますが、「宮崎の出生率は沖縄に次ぐ全国2位。人口流出を防げば消滅可能性都市にはならない」として、宮崎での「働く場」「学ぶ場」「暮らす場」を強化しよう訴えました。

続いて、「新しい宮崎に向けて私たちにできること」というテーマで、パネルディスカッションに入りました。パネリストとして河野知事、堀井副学長のほか、在京経営者会議から経済誌「財界」社長兼主幹の村田博文氏、地元経済界から島原俊英・日向中島鉄工所社長、高橋由美・





宮崎県産業振興機構コーディネーターが参加、新しい宮崎の人財づくりを中心に、活発に議論を展開しました。記念フォーラムのあとは意見交換会に移り、どうしたら宮崎を活性化していくことができるか、夜遅くまで話し合いました。

「宮崎の未来創生コンソーシアム」は、在京経営者会議の会員をはじめ関係者のご協力により、ようやく具体的に動き出すことができました。今後とも、求人・求職説明会など関連活動とも連携をとり、コンソーシアムの活動をさらに充実させていかなければなりません。引き続き、会員の皆様のご協力・ご支援をお願いいたします。

## 新しい宮崎づくりに向けた人財づくり宣言

人口減少社会の到来は、地方にあっては最終的に地域の維持・存続に関わる非常に深刻な問題です。東京一極集中が進む中で、地域の産業、医療・福祉、くらしなど、地域のあらゆる分野の発展を支えるのは「人」、そして「人と人とのネットワーク」であり、「人財」なくして地域の発展は見込めません。

そこで、産・学・宮の多様な連携の下、「新しい宮崎づくり」に向けた人財の育成を行うため、宮崎大学、宮崎県在京経営者会議、宮崎県は、意欲ある学生、社会人、経営者等を対象とした人財育成の場として、「みやざき未来創生塾」を創設し、東京と宮崎をつないだ「新しい宮崎づくり」を進めることを宣言します。

- 1 宮崎大学は、ここ宮崎の地の知の拠点としての教育・研究・社会貢献事業を通じて、「新しい宮崎づくり」に必要なノウハウやシーズ、講師等を提供します。
- 2 宮崎県在京経営者会議は、これまでの経済活動等の中で培ってきた経験や人的ネットワークを活かし、東京の視点からの「新しい宮崎づくり」につながるノウハウや講師等を提供します。
- 3 宮崎県は、「みやざき未来創生塾」の運営に協力し、「新しい宮崎づくり」を通じて、豊かさを実感できる宮崎の未来の創造を目指します。

平成26年8月26日

宮崎大学副学長 堀 井 洋一郎

宮崎県在京経営者会議会長 高 山 弘 憲

宮崎県知事 河 野 後 嗣

## 平成27年賀詞交歓会

平成27年1月23日、「平成27年賀詞交歓会」が東京千代田区隼町のグランドアーク半蔵門で開かれました。

会長代理の山中祥弘副会長の挨拶、河野俊嗣宮崎県知事、福田作弥宮崎県議会議長の祝辞のあと乾杯。約60人の出席者が親睦を深めました。



## 編集後記

今年は十干十二支では「乙未」（きのとひつじ）。

乙は乱れた糸をとかく形を表し、未は木の枝葉の茂りゆく形を意味するそうです（字通より）。

あらゆる困難に直面しても、ぶれずにそれを一つずつ解決し、前進するような一年にしたいですね。（河）